

県産材を利用した床組の強度性能評価（Ⅰ）

小玉泰義

1. はじめに

県産針葉樹材の構造用面材への利用を目指して、スギ幅はぎパネルの開発を行ってきた。（大型プロジェクト研究「地域材を利用した高信頼性構造用材の開発」）その中で、壁体の面内せん断試験を実施した。その後、品確法の施行などに伴う建設省告示で床組についても新しい試験方法が示された。そこで、この課題では、先に大型プロジェクト研究で実施した構成と類似の壁体を新しい試験方法で再度実施し、両者を比較することとした。

2. 方 法

今年度は、初年度なので、準備段階として以下の項目を実施した。

1) 試験事例の調査

今までに全国で行われた、床組の試験事例を調査した。

2) 幅はぎ材料の配列決定

床組に貼る面材としての板材のヤング係数と密度を調べて、幅はぎする配列を決めた。

3. 結 果

現在、床組の面材に用いる板材を養生中である。